

第4章 カモシカ死亡個体の分析

1. 材料と方法

カモシカは個々の個体が特別天然記念物であるため、死体が発見された場合には滅失届を提出するよう行政指導が行われている。死亡個体や負傷個体が発見された場合は、各市町村教育委員会から府県教育委員会に、府県教育委員会から文化庁に滅失届を提出することになっている。これらの滅失記録と死亡個体は、個体群の死亡状況を知る上できわめて貴重な資料ある。しかし、当保護地域においては生息密度が全国平均に比べ著しく低いことを反映してか滅失個体数も少ない。このため滅失届に基づいて自然死亡状況に関する簡単な検討を行うにとどめた。整理の対象は前回調査以降の1986年度から1992年度とし、広域調査地域関連市町村である。

2. 滅失届の整理

表Ⅱ-23に、1986年度から1992年度までの年度別滅失個体数を示した。この7年間の総個体数は56頭で福井県が40頭、岐阜県が10頭、滋賀県5頭、京都府が1頭である。年度別の個体数は年々増加しており、特に福井県の1991年、1992年は11頭と著しく増加している。表Ⅱ-24に滅失届に記載された死亡要因別の個体数を表Ⅱ-25にその一覧を示した。ただし死亡要因は、様々な状況から報告者が推定したものであり、直接の死因を正確に示すものではない。

死亡要因は事故死と疾病等に大きく区分される。事故死では、直接的死亡要因として特定できる転落死、交通・列車事故、溺死、イヌによる事故に区分した。また疾病等については、衰弱死、餓死、皮膚疾患、肺炎、呼吸困難、消化器性疾患、骨折等に区分した。滅失個体総数の内事故死に区分されたものは20個体（35%）、疾病等は23個体（41%）、記載がなかったり不明とされたものが13個体（24%）であった。事故死の中では転落死が最も多く8頭、ついで自動車事故交通事故・イヌによる事故がそれぞれ4頭の順であった。疾病等の区分では衰弱死が最も多く5個体（9%）であり、その他の要因によるものは全て1個体ずつであった。図Ⅱ-23に滅失個体分布地点を示した。滅失個体は、そのほとんどが保護地域の外で確認されている。西部地域では福井県小浜市で多く発見されており、東部地域では、保護地域からかなり離れた岐阜県美山町、洞戸村での確認個体数が多い。

表Ⅱ-23 県別、年度別滅失個体数

	福井県	岐阜県	滋賀県	京都府	計
1986	2	1	0		3
1987	3	2	1		6
1988	5	2	1		8
1989	1	2	1		4
1990	7	1	1		9
1991	11	1	0	1	13
1992	11	1	1	0	13
計	40	10	5	1	56

表Ⅱ-24 死亡要因別滅失個体数

死亡要因	性別			計
	オス	メス	不明	
事故				
イヌによる事故	1	1	2	4
列車事故		1		1
自動車事故	3	1		4
川で溺死	1			1
用水路で溺死	1			1
転落死	4	3	1	8
雪崩による事故			1	1
疾病				
原因不明	3	1		4
全身性衰弱死	1	3	1	5
餓死	1			1
その他	1			1
原因不明	3	1		4
皮膚疾患		1		1
肺炎	1			1
呼吸困難		1		1
消化器性疾患	1			1
外傷 個体間の争いによる	1			1
裂傷	1			1
骨折	1			1
原因不明	1			1
不明	3	5	5	13
計	28	18	10	56

表Ⅱ-25 カモシカ滅失報告一覧

県名	市町村名	発見年月日	死亡	死亡年月日	死亡原因	性別	年齢
福井県	敦賀市	1991. 5. 7	死		不明	不明	成獣
		1991. 5. 12	死	1991. 5. 12	事故・交通事故・自動車	雄	成獣
		1991. 5. 20	死		不明	雌	成獣
		1991. 5. 24	死		事故・交通事故・自動車	雄	成獣
		1991. 6. 10	死		事故・捕食者・イヌ	雌	成獣
		1992. 2. 2	死		事故・捕食者・イヌ	不明	成獣
	小浜市	1992. 2. 25	死		事故・捕食者・イヌ	不明	成獣
		1986. 5. 11	生	1986. 5. 22	疾病・全身性・衰弱	雌	幼獣
		1987. 6. 18	死	1987. 6. 18	事故・転落死	雌	成獣
		1988. 7. 2	生	1988. 7. 2	疾病・全身性・不明	雄	成獣
		1988. 7. 21	生	1988. 7. 22	疾病・外傷・裂傷*	雄	成獣
		1988. 4. 22	死	1988. 4. 21	疾病・外傷性・皮膚炎, 発疹	雌	成獣
		1990. 6. 2	生	1990. 6. 4	疾病・全身性・不明	雌	—
		1991. 2. 25	死	1991. 2. 23	事故・転落死	雄	—
		1991. 7. 7	死	1991. 6. 20	疾病・不明	雄	—
		1992. 8. 19	生	1992. 8. 20	疾病・外傷・不明	雄	7
	大野市	1986. 6. 13	生	1986. 6. 16	疾病・外傷・骨折	雄	2
		1987. 5. 21	生		事故・転落死	不明	—
		1988. 2. 25	生	1988. 2. 25	事故・溺死・用水	雄	—
		1988. 5. 5	生	1988. 5. 8	疾病・全身性・衰弱	不明	幼獣
		1990. 1. 9	死	1990. 1. 8	事故・転落死	雄	1
		1990. 7. 14	死		事故・転落死	雌	8
		1991. 11. 27	死	1991. 11. 24	不明	雌	成獣
		1991. 8. 3	生	1991. 8. 3	不明	不明	—
		1992. 4. 16	死	1992. 3	不明	雌	成獣
		1992. 6. 9	死	1992. 6. 8	不明	雄	成獣
		1992. 6. 26	生	1992. 6. 28	疾病・全身性・衰弱	雄	幼獣
		1992. 8. 18	死	1992. 8. 18	事故・交通事故・列車	雌	成獣
	勝山市	1992. 8. 20	死		疾病・不明	雄	成獣
		1990. 4. 13	死		事故・雪崩による	不明	—
	和泉村	1991. 10. 4	生	1991. 10. 8	不明	不明	—
		1991. 11. 28	死	1991. 11. 27	事故・転落死	雄	2
	池田町	1987. 11. 23	死	1987. 11	事故・交通事故・自動車	雄	—
		1990. 2. 8	死		不明	雌	2
	美浜町	1992. 12. 16	生	1992. 12. 16	疾病・外傷・個体間の闘争	雄	成獣
		1989. 9. 13	死		不明	雄	成獣
		1990. 3. 4	死		疾病・全身性・不明	雄	成獣
		1990. 11. 18	死		疾病・全身性・不明	雄	成獣
		1992. 1. 12	死	1992. 1. 11	疾病・不明	雄	幼獣
		1992. 8. 4	死		疾病・不明	雌	幼獣
岐阜県	美山町	1986. 11. 5	死	1986. 10	不明	雄	7
		1988. 6. 10	生	1988. 6. 11	疾病・全身性・衰弱	雌	幼獣
		1989. 5. 11	死	1989. 5. 9	疾病・全身性・腹膜炎	雄	3
	洞戸村	1987. 3. 20	死		不明	雌	7
		1988. 10. 1	死	1988. 9. 28	事故・捕食者・イヌ	雄	1
	坂取村	1989. 5. 3	生	1989. 5. 3	疾病・全身性・飢餓	雄	—
		1990. 4. 1	死	1990. 3. 1	疾病・消化器性・便秘	雄	7
	坂内村	1991. 5. 7	死		不明	不明	—
		1987. 1. 12	死	1987. 1. 11	事故・転落死	雄	4
	根尾村	1992. 7. 18	死		疾病・全身性・衰弱	雌	4
滋賀県	西浅井村	1988. 10. 8	死	1988. 10. 8	事故・交通事故・自動車	雌	—
	木之本町	1989. 9. 4	死		事故・転落死	雌	亜成獣
	マキノ町	1987. 5. 4	生	1987. 5. 6	事故・溺死・川	雄	亜成獣
	今津町	1990. 6. 1	生	1990. 6. 28	疾病・呼吸器性・肺炎	雄	幼獣
		1992. 11. 5	死		不明	不明	
京都府	美山町	1991. 5. 18	生	1991. 5. 23	疾病・呼吸器性・呼吸不全	雌	幼獣

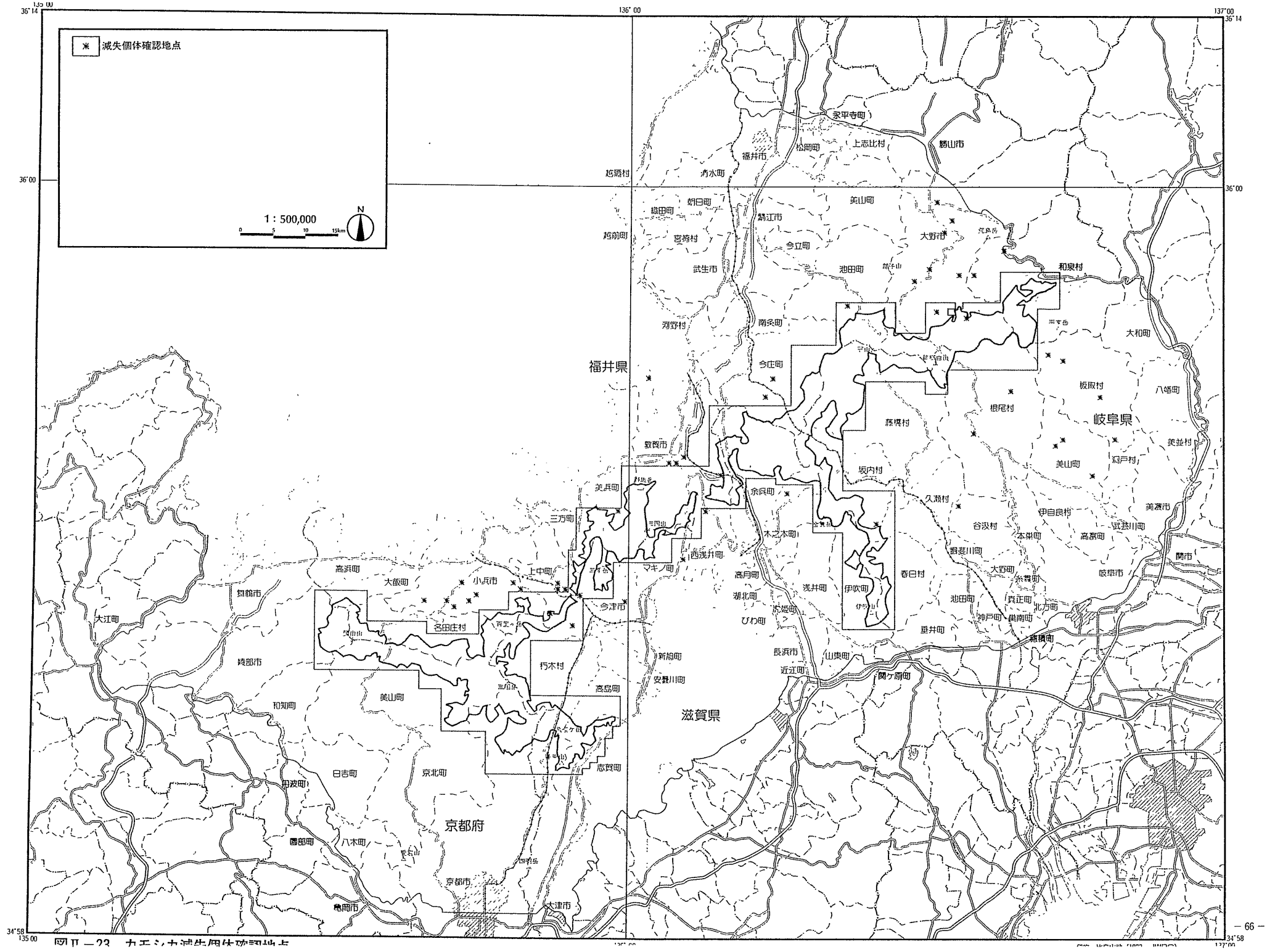


図 11-22 カエシナ滅失個体確認地点